

平成28年度大阪府立吹田東高等学校

第3回学校協議会

日時：平成29年2月15日（水）

場所：大阪府立吹田東高等学校 校長室

委員	村田 正昭	吹田市立千里丘中学校 校長
	豊留 由美子	吹田市立東山田小学校 校長
	山崎 彰	武庫川女子大学健康・スポーツ科学部長
	城下 英行	関西大学社会安全学部准教授
	柏渕 眞理子	東山田青少年対策委員会委員長
校長	中田 裕省	吹田東高等学校 校長
事務局	田中 伸明	吹田東高等学校 教頭
	芝野 雅人	吹田東高等学校 事務長
	井川 紀代子	吹田東高等学校 首席
	久保 美治郎	吹田東高等学校 指導教諭
	村上 明弘	吹田東高等学校 首席
	笠井 彰人	吹田東高等学校 教諭
	磯崎 はるな	吹田東高等学校 教諭

## ◆学校長挨拶

中田校長より

- ・大手前大学と本校生徒（アクティブスポーツ選択者）とのゴルフの交流
- ・本校 Web ページ、校長通信の紹介
- ・Web ページに載せている「卒業生の個人情報流出についての事案のお詫び」の文書について、昨年4月より問い合わせが無くなったので削除してもよいか検討していただきたい。

## ◆議 事

### ○報告事項

(1) 学校教育自己診断について 《資料1》

#### 【結果報告】

(井川首席より)

- ・今年度、生徒・保護者が答えやすいよう、より具体的に質問項目変更および削減。
- ・今年度はアンケートの集計結果を3学年合わせた形で保護者や生徒に返す。
- ・記述式の内容についてもコメントをつけて返す。
- ・「吹田東高校に進学させてよかった」という保護者の回答は8割を超えているが、「吹田東高校に入学してよかった」という生徒の回答は66%と低いが、学年が上がるほど高くなっている。
- ・「大学と連携した活動が多い」の肯定的な回答は生徒、保護者とも上昇。
- ・「全体として授業に満足している」の肯定的回答はやや低め。
- ・S 講座の満足度は50%で、時間帯の問題もあるがさらに授業アンケートをとり、満足度アップをZ会に依頼している。
- ・教員が行う講習については受講者が5割程度で、受講者の満足度は85%以上。
- ・進路指導面では生徒の満足度は高い。
- ・生活指導面では納得できるという生徒の評価は5割程度であるが、保護者の評価7割以上である。
- ・メール配信でさまざまな情報提供をしている点については保護者の85%は役に立っていると回答。
- ・「Web ページを見る」の回答は入学前は8割程度だが、入学後は保護者で30%、生徒は10%未満と低い。
- ・学校ブログを立ち上げ、部活動の状況を随時顧問が更新できるようにした。

- ・「緊急時の対応マニュアルについて知らされている」についての生徒の回答が低い、今年度は防災避難訓練が2回とも雨天のため放送のみになったためだと思われる。
- ・「施設について満足している」は生徒、保護者とも5割程度であるが、仮設校舎ということもあるので理解してもらいたい。

(教頭より)

- ・授業について、先生によって差があるという意見があった。今年は校内研修を通じて課題を共有し、ICTやアクティブラーニングの導入を進めてきた。
- ・生徒から生徒指導が厳しいという意見があるが、これについては学校の方針として保護者の評価も高いので今後も続けていく。
- ・「先生が挨拶を返してくれない」という意見があったので、そのようなことが無いように教員には呼びかけている。
- ・進路指導について、大学希望以外の生徒があまり面倒を見てもらえないという意見があったが、全体のHRは大学進学についてのものが多いので、看護や就職規模の生徒には個別指導で対応しているということで理解を求めたい。
- ・科目選択について特に3年ではもう少し弾力的に対応できたらと検討している。
- ・体育祭について、すばらしい万博記念競技場を借りており、今年は雨の中実施したが、今後は雨天時の対応など考えていきたい。
- ・文化祭については、2日実施の要望があったが授業との両立も考えながら内容など検討していきたい。
- ・Webページについてはもう少し見てもらいやすい内容にしていく予定。
- ・施設面では空調が効きにくいという意見があるが、本校は仮設校舎ということもあり府立学校の基準より温度や期間を見直してもらっているので理解してもらいたい。
- ・先生に生徒の意見を聞いてほしいという意見が複数あったが、「気軽に相談できる」というアンケート項目が上がるように取り組んでいきたい。

(校長より)

- ・昨年まではアンケート結果をWebページに掲載していたが、昨年の学校協議会の意見で保護者に配布もした方がよいという意見をいただいたので今年はこのような形を取らせていただいた。

Q.委員 今までアンケートを返さない理由は特にあるのか

A. 特に理由は無いが、今まではWebページで結果を掲載していたが、今回は記述式アンケートの返しをすることによって、より学校の方針を理解してもらおうと考えた。

Q.委員 ブログの更新について、教員がそれぞれ携帯でも更新できるようになったみたいだが、公立学校では管理者の権限が無ければ更新できないが、ブログ管理システムはどのようになっているのか。

A. 昨年、大阪府で新たにブログによって更新できるシステムが導入されたのを受けて、本校では部活動に限定して顧問が試合結果等をすぐに更新できるようにした。

Q.委員 名前など個人情報に対する配慮やマニュアルはあるのか。

A. マニュアルはある。現在ブログについては顧問に任せているので、今後検討していく。

Q.委員 大学の場合は規模が大きく横のつながりが少ないため学生の情報など入ってこないでWebページで全体の動きを見ることが出来る。

Q.委員 高等学校では部活動など生徒の状況を校内で共有する方法はあまり無いのか。

A. 生徒どうしはLINEやTwitterで検索していると思われるが公式にはWebページで、表彰などは学期毎に始業式や終業式で全校生徒の前で校長から行っている。

委員 担任を通じてHRなどで情報を生徒に流すなど、Webページと併用することでより一層校内のことが伝わると思う。

A. 放送部が部活動の情報など昼の校内放送で紹介するという取り組みも考えている。

Q.委員 Webページの閲覧率が中学校では高いが、高校では低いのは何か原因があるのか。

A. 広報が担当して作ってきたが、中学生対象の内容が多く高校生はすでに知っている内容が多いからではないか。

スマホになり見やすくなっており、学校ブログも含めて見てもらえるような取り組みをしていく。

## (2) 授業アンケートについて 《資料2》

### 【結果報告】

(久保指導教諭)

- ・2年生では2学期に教材活用の項目で上がっている。
- ・3年生では全体的に2学期は少し下がっているが、例年の傾向で2学期になると進路が決まった生徒の意識が下がるためである。  
また、41期生は昨年(2年次)も1学期より2学期が少し下がっている特徴がある。
- ・41期生の特徴としては男女比がクラスで男子が16名、女子が24名で40期生は半々である。  
全体的な雰囲気は40期生より41期生の方がおとなしい。
- ・全体を見ると40期生より41期生の3年次の方がすべてのポイントで高い。

Q.委員 この結果を持って生徒や教職員にどのような取り組みをしているのか。

A. 各項目所定の数値未満のものは教科や科目の担当者に返し、なぜそのような結果になったのか分析し、教員間で情報共有してもらっている。

記述式アンケートはクラス毎に担当者から生徒に直接返答してもらっている。

Q.委員 生徒も返答が無いと次はいよいよ加減に回答すると思うのでその辺りはしっかりやってもらいたい。

A. 記述式アンケートの結果については担当者から必ず授業で返すようにするのと、どのような返しをしたのかを校長が確認している。またそれを徹底するようにしているが100%できていない。

Q.委員 「小学校ではそれが教員の評価と給与に反映されるが高校ではどうか。

A. 生徒のアンケートがすべてでは無いが同じである。

## ○協議事項

\*Web ページに載せている「卒業生の個人情報流出についての事案のお詫び」の文書について、昨年4月より問い合わせが無くなったので削除する。

## (1) 平成28年度学校経営計画自己評価について 《資料3》

(教頭より)

- ・「シラバスは役立っている」について5パーセント以上のアップで達成。  
政治的教養については2年生に大阪国際大学谷口教授から「18歳の選挙権」について講演していただいた。
- ・授業見学の実施率は達成できていないが、全教員対象の授業見学を実施した。
- ・「先生の講習は役に立った」は目標が上手く達成できた。
- ・図書の出し出し数は、昨年は引越しが有り極端に減ったが今年は例年通りになった。
- ・遅刻数は現時点の数から考えても順調である。
- ・オーストラリアの語学研修の人数は目標より下回った。
- ・「担任以外で気軽に相談できる先生がいる」の数値が例年より上がっている。
- ・「中学校の公開授業の参加者数」や「ホームページを見たことがある」は目標を達成できなかったので来年度の課題にしたい。

(校長より)

- ・本校の俳句創作の長年の取り組みの成果が文部科学大臣優秀教職員組織表彰を受賞した。  
これについてはWeb ページに載せたいと思う。また、自己評価の中にも入れようと思う。

委員 「担任以外で気軽に相談できる先生がいる」において1年生が2, 3年に比べると低いですが、入学してから担任以外に相談しにくいかもしれないが、部活動の顧問など相談できる環境があればよいと思った。  
体罰やセクハラについて学校は許さないや適切に対応しているという回答が高いので、もっと生徒との信頼関係ができればと思った。

- Q.委員 1年生の生徒の中でなぜ俳句の取り組みをするのかわからないとか、保護者の意見で吹田東高校の教育方針がどこを向いているのかわからないというのがあるが、吹田東高校らしさがどこを向いているのかがまだ伝わっていないのでは。
- 吹田東高校の特色はこれ、というようなことが生徒や保護者に見え、共有できるとまとまりができると思う。そういう意味では俳句も一つの大きな柱で、それ以外でも吹田東らしさが表に出てくるといいと感じた。
- Q.委員 オーストラリアの語学研修が6名で△が付いているが、何か原因があるのか。
- A. 一番多かった年は4月にホームステイを受け入れ、それが語学研修に繋がったと思う。今年9月に中国の生徒を受け入れたが、これからこのような取り組みを行い、繋げていければと思う。
- Q.委員 以前の学校で、オーストラリアの学校と姉妹校提携を結んでホームステイを受け入れまたこちらからも行き、学校としても交流し、また吹田市も姉妹都市を結んでいた。
- 何か流れがあり、この語学研修があれば生徒のモチベーションも上がるのでは。
- 例えば学校挙げてリアルタイムで授業交流するとか、取り組みがあれば参加生徒も増えるのでは。
- A. 今年中国との交流で各クラスから2名出て、事前に準備を進めていったが、それを経験した1年生は次年度参加してくれればと思う。
- 今回の中国との交流は国の制度で、大阪に来た一日を吹田東高校に来てもらい一緒に授業を受けてもらうなどの取り組みを行った。他ではなかなか実現できないことである。来年もぜひ吹田東で受けてほしいと言われた。
- Q.委員 学校で英検やTOEICの受験に力を入れているのか。
- A. TOEICBRIDGEを1,2年全員受験している。そこで1年から2年でポイントが上げ、達成感を持てるように取り組んでいる。

(2) 平成29年度学校経営計画について 《資料4》

(校長より)

【中期的目標について】

- ・アンダーラインのところが昨年から新たに変更や追加した部分。
- ・来年度導入される観点別評価の取り組みに向けた目標を入れた。
- ・生徒相互にも気持ちを伝え合える環境づくりをめざすということから「積極的にあいさつ、声掛けを心がける」を入れ、教員とのつながりや生徒間のつながりを広げてほしい。
- ・仮設校舎は少し汚れが目立つので「教室等の施設設備の充実と美化に努める」を入れた。
- ・10年目を迎える教員が増えており、期待する意味で「ミドルリーダーの育成」を入れた。

【本年度の取り組み内容及び自己評価】

- ・観点別評価に向けて、各教科で共有しながら評価につなげ、授業改善とリンクさせて取り組んでいく。
- ・個人情報の管理表を作成したが、今後は各部屋の責任者が引き継ぎを文書で実施していくようにする。

- Q.委員 清掃について新たに入っているが、現在清掃はどのように行なっているのか。
- A. 生徒がほうきで行っているが、ごみを集めにくく、来年度はモップを購入する予定。
- Q.委員 各教科の観点別評価を導入するということになっているが、今まではされていなかったのか。
- 中学校は、今は観点別評価に基づいて評価を出している。
- A. 小中学校は指導要録が変更されているが高校は変わっておらず、今までは観点別評価は無かった。
- 委員 中学校では観点別のテストを作り、各部分での点数をソフトに打ち込み点数を出している。
- A. しっかり取り組んでいくために教科会を積極的に行っていく。

### (3) その他

- 委員 東日本大震災後から毎年国の事業で都道府県の教育委員会に対して防災教育、防犯教育、交通安全教育、災害ボランティアの派遣事業を行っている。具体的には防災は学校に防災アドバイザーを派遣、防犯はGPSを使ったマップ作り、交通安全はスタントマンが実際の交通事故の場면을再現してもらうようなものの派遣事業、高校生限定で被災地に災害ボランティアを派遣する取り組みで、費用はすべて大阪府が負担。吹田東高校は自転車通学が多いと聞いているが、交通安全の取り組みとして利用してはどうか。府が予算を支出してくれ、地域にも公開して行える。高校が難しいのであれば小中学校でもどうか。
- 委員 どのように申し込むのか。
- 委員 教育委員会教育振興室保健体育科に問い合わせれば情報提供してもらえます。
- 委員 自転車保険が義務づけられたので、中学校で吹田警察から交通安全教室を行ってもらったが、今回の話は参考にさせてもらう。
- A. 本校では昨年、仮設校舎の避難経路を確定するにあたり防災アドバイザーに来ていただいた。吹田市の取り組みで今年度8月に本校生徒が一名被災地にボランティアを申し込み参加させていただいた。安全教育の取り組み、主に自転車指導では今年度は吹田警察の指導及び吹田警察の紹介で大阪府警にも来ていただいた。先ほどの貴重な情報は参考にしたい。
- 委員 吹田東高校の通学の自転車マナーがよくなった。アンケートから教員のマナーのことが書かれているが、マナーの向上をぜひお願いしたい。防災については、何かあれば中高生がよく動いてくれると思うので、地域との連携を取れたらと思っている。

#### ◆事務連絡

- ・現在、芸術選択者による「二科展」を行っているので、ぜひご覧いただき、これという作品に協議会委員賞のシールを貼ってください。
- ・委員の方で異動があれば後任の方をお願いする。
- ・来年度の第1回学校協議会は6月で設定し、決定次第連絡する。